

日本人の「人を助ける心」

阪神・淡路大震災から15年がたち、その追悼行事が行われる5日前に、中米カリブ海の小国ハイチが大震災に襲われました。壊滅的な惨事が突如発生し、現場はまさに阿鼻叫喚、地獄絵図さながらの様相を呈しました。その犠牲者の数は、阪神・淡路大震災の約30倍の20万人以上といわれています。今回の悲劇が他のケースと違ってさらに深刻だったのは、首都が直撃されたこと、政府庁舎や病院施設などを含むほとんどの建物が全壊してしまったこと、水、電力、電気通信、インフラなどのライフラインが壊滅してしまっただけです。

被災地に派遣されたJICA国際緊急援助隊医療チームは2週間にわたって懸命に負傷者を治療しましたが、重症患者を診て緊急の手術が必要と判断しても、その設備を備えた搬送先の病院施設がなく、目の前で亡くなっていくのを座して見ているしかないという人道的な立場からは耐え難いジレンマにさらされました。自衛隊の医療チームに引き継いで帰国した各隊員の表情が、いつになく悲しみに満ちていたのはそのためだったと推察されます。しかし反面、次に派遣されるときは同じ事態は繰り返すまいという強い決意も見えて取れました。

普段はその国がどこにあるのかも知らないで暮らしている私たち日本人も、一旦そこで災害が起こると放つておけない気持ちになります。人を助けたいと思う心は理屈ではありません。それは私たち日本人が受け継いできたDNAのようなものではないでしょうか。日本という国が、これからも「助っ人ジャパン」として世界に貢献していく道を歩んでいくことを願っています。

広報室長 力石寿郎

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2010年4月15日

Email: jica@idj.co.jp
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① フェルトの小物
- ② 書籍『南アフリカの衝撃』(p30参照)
- ③ 書籍『世界を変える! みんなの力』(p30参照)
- ④ 書籍『ラララ親善大使』(p40参照)



本誌をご希望の場合は
送料ご負担(200円)にて
お送りいたします。



申込方法

氏名・住所・電話番号・ご希望の号数もしくは送付期間を明記の上、下記にお申し込みください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp
支払方法 「ゆうメール」の着払いとなりますので、
本誌と引き替えに200円をお支払いください。

次号予告 (2010年4月1日発行予定)

スポーツと国づくり

心身を鍛えるのみならず、貧困削減や経済成長への可能性を秘めたスポーツ分野の取り組みを特集します。



MARCH 2010 No.18

編集・発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency: JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル1~6階
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: http://www.jica.go.jp/

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。